

城主名	在城年間	石高	移転前	移転後	備考
徳川家康	元亀元年(1570)～天正14年(1586)		岡崎	駿府	後、征夷大將軍
堀尾吉晴 忠氏	天正18年(1590)～慶長5年(1600)	12万石(後17万石)	近江佐和山	出雲松江	寛永10年(1633)嗣子無しの為、改易
松平忠頼	慶長6年(1600)～慶長14年(1609)	5万石	美濃金山		改易
水野重仲	慶長14年(1609)～元和5年(1619)	2万石(後3万石)		紀伊新宮	徳川頼宣(家康11男、後の紀伊家)付家老
高力忠房	元和5年(1619)～寛永15年(1638)	3万石	武蔵岩槻	肥前島原	
松平乗寿	寛永15年(1638)～正保元年(1644)	3万石	美濃岩村	上野館林	在城中に老中・侍従
太田資宗 資次	正保元年(1644)～延宝6年(1678)	3万石	三河西尾	大坂城代	資次、在城中に奏者番・寺社奉行
青山宗俊 忠雄 忠重	延宝6年(1678)～元禄15年(1702)	5万石	大坂城代	丹波亀山	宗俊、在城中に老中
松平資俊 資訓	元禄15年(1702)～享保14年(1729)	7万石	常陸笠間	三河吉田	2代在城中に侍従
松平信祝 信復	享保14年(1729)～寛延2年(1749)	7万石	三河吉田	三河吉田	信祝、在城中に大坂城代・侍従・老中
松平資訓 資昌	寛延2年(1749)～宝暦8年(1758)	7万石	三河吉田	丹後宮津	再任、在城中に京都所司代・侍従
井上正経 正定 正甫	宝暦8年(1758)～文化14年(1817)	6万石	京都所司代	陸奥棚倉	正経、在城中に京都所司代・侍従・老中 正定、在城中に奏者番・寺社奉行
水野忠邦 忠精	文化14年(1817)～弘化2年(1845)	6万石(後7万石)	肥前唐津	出羽山形	忠邦、在城中に寺社奉行・大坂城代・老中・侍従
井上正春 正直	弘化2年(1845)～明治元年(1868)	6万石	上野館林	上総鶴舞	正直、在城中に寺社奉行・老中・侍従

江戸時代以降 明治維新後、廃城となり、城郭は壊された。昭和33年(1958)天守閣再建。昭和34年(1959)市の史跡に指定。